



学校だより



9月号

令和8年9月1日
江戸川区立瑞江小学校

夏祭りは地域のつながり

校長 牧岡 優美子

今年は45日間の長い夏休みになりました。その間、熊本地震、千葉豪雨、北陸豪雨という大きな災害が発生しました。次々と報道される映像を観ながら、苦しくなりました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

夏休み中には瑞江町会、下鎌田町会、今井町会の夏祭りがあり、私も全部に参加させていただきました。(西瑞江三丁目町会のお祭りは9月) お祭りの準備は春からスタートしていて、町会の皆さんが楽しくて、安全な開催のために力を尽くしてくれました。当日も直前のゲリラ雷雨や雨天による短縮など、天候に悩まされながらの運営でした。そのおかげで、お祭りの会場ではみんなが楽しそうに笑っていましたし、本校の子どもたちにもたくさん会いました。焼きそば、フランクフルト、かき氷などを味わったり、盆踊りに参加したりして楽しんでいました。

こうした地域の夏祭りは、人が集まり、つなげる場になります。日頃から地域の人々が集まり、顔見知りになり、力を合わせていることが、地域の強みになっています。有事の際には「自助・共助・公助」と言われますが、「共助」はこうしたつながりこそが力を発揮します。瑞江地区の頼もしさを感じます。

今、地球は「地球温暖化」で暑くなり、100年で約1℃上昇してしまったと言います。先日のネパールの災害も、氷河が崩れたことによる土石流と報道されています。次々にやってくる災害にも、いざという時に地域のつながりがますます大切です。地域がつながる夏祭り、この文化がずっと続くようにと思います。

さて、夏休み中に本校は大規模工事が入り、暑い中で外壁塗装工事、体育館屋根改修工事、教室の空調設備工事などの作業をしていただいています。天候に悩まされながらも工事の方々が頑張ってくださり、体育館屋根と空調設備はほぼ終了しています。また、新しい校舎の色が見えるようになりました。「青、赤、白」のさわやかトリコロールカラーでお願いしましたが、河川の景観条例で制限があり、「水色、ピンク、白」の優しい色合いになっています。しかも水色が明和橋と同じ色なので、景色に一体感が出ているようです。とはいえ、完了までにまだ時間が掛かり、道路側の塗装、足場撤去、校庭バリケード撤去は9月いっぱいとのこと、全容が判明するのはもう少し先ですが、楽しみです。

2学期は多くの学校行事、校外活動を計画しております。しばらくは厳しい暑さが続きますが、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

